

水と安全はただ？

校長 伊勢 明子

昭和のかつて、イザヤ・ペンダサンという人の著書に「日本人は、水と安全はただだと思っている」という話が載っていました。確かに雨水に恵まれ、地形的にも山地の水源や川が適度にあり、管理が行き届き、治安もよいことから外国人からそのような国に暮らす国民の感覚ととらえられたと考えられます。昔も今も水不足や紛争、戦争に苦しむ国々が地球上にはたくさんあります。そのような国々と比較すれば日本は「水と安全は、安易に手に入る」と言えたのかもしれませんが。

しかしながら、最近の日本では、そうも言えない状況が少なからず起きています。まずは、地震です。大きな地震で水道設備が破壊され、長期間、断水が続き、困窮を極める状況が熊本地方、能登地方にありました。また、高度成長時代に張り巡らされた水道管が半世紀以上経ち、老朽化のため漏水、破損が進み心配な状況もあります。次は、犯罪です。昔無かったような SNS を介在させた特殊詐欺や凶悪事件のニュースが毎日報道されていま

す。子どもを守り育てる立場にとっては、特に「安全」に対する意識は、昭和時代とは全く違うものにならざるを得ません。保護者や地域の皆様には、校門の施錠、入校証の着用、救急車両の入校確保のための自転車禁止、PMP 活動等への協力をいただいています。また、学校では、以下を実施(済みに)しています。

- ・警察と連携した防犯カメラの設置
- ・校舎、校地の毎朝の警備員、副校長による巡視で危険物や危険個所の早期対応
- ・各階ベランダの転落防止用ネットの設置
- ・階段手摺への転落防止柵の設置
- ・登下校時の校門付近での指導と見守り

加えて、高井戸駅までの歩道に面した外壁の亀裂の修繕工事、校門わきのアカマツが老朽化して危険という診断が出たため伐採工事をこれから実施します。校門付近の景色が変わっていきます。「安全・安心」を第一義に学校運営を進めてまいります。ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

7月の生活目標『身の回りの整理整頓をしよう』

生活指導部 豊留 由紀子

身の回りが整頓された状態にするために、必要な物とそうでない物に分けて整理し、物の置き場所を決めて整頓することが大切です。「どレッドレ、今からかたづけマスター」を合言葉に、学校全体で整理整頓にすすんで取り組んでいきます。

また、学校での落とし物が増えています。学習用具などの整理や持ち物への記名は、子どもたちにやり方を教えれば、自分でできる力をもっています。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

6月に引き続き、「相手の顔を見てあいさつしよう」も目標となっています。気持ちの良い挨拶が継続できるよう声掛けを続けていきます。

